

二月を迎えて

教材の販売会社の許可を得て、次年度採用予定の教材を、試験的に導入を始めました。現在、各学年二つにまで絞り込んでおり、塾生のみなさんの学習状況を考慮し、あと数週間で決定したいと考えています。

また、今年度からの新たな取り組みとして、保護者様、お子様、塾長の三者面談を実施したいと考えています。保護者の皆様とは、お迎え時やコードモンのメッセージ機能を通して意思の疎通を図らせていただいているところですが、今年度から、お子様を交えて、十五分ほどとはなりますが、面談を行い、改めてイデアでの状況をお伝えし、加えて、保護者の皆様のイデアへのニーズの把握に努めたいと考えています。

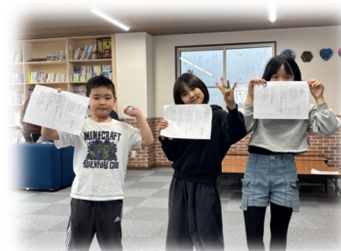
小学生の預かり時間終了後にやってくる中学生の定期テストが二月中旬に控えており、それが終了してから、それぞれお迎え時にお時間を頂戴したいと存じます。詳細は、あらためてお手紙にてお知らせいたしますので、お忙しいところ恐縮ですが、ご協力のほどをお願いいたします。

今号のトピックス

毎週金曜日に、詩の暗唱と都道府県の特徴発表を交互に行うことにしました。

詩の暗唱は、国語の勉強で扱う文学作品や説明文とは別に、日本語の美しい表現技法に触れたり、作者の思いを自由に推測してもらおうことを目的に実施します。一週間前に作品を配布し、暗記するために繰り返し読んでもらい、金曜日に三名を指名して発表してもらいます。始めて暗唱を行った一月二十五日、一番先に手をあげてくれたのが一年生で、しかも完璧に覚えていてくれたことに、嬉しさと頼もしさを感じました。

都道府県の特徴発表は、日本各地の特徴を知ってもらうために実施するもので、あらかじめ「地図的な形、人口、面積、その都道府県のすごいところ」がまとまったプリントを配布し、これも一週間かけて覚え、三名を指名して発表してもらいます。初めての発表日は二月八日です。どのような発表になるのか、今から楽しみです。



詩の暗唱に成功した3人 (1/25)

お知らせ掲示板

① ご紹介キャンペーンの実施について

昨年度も実施しましたが、在籍塾生の保護者様のご紹介で新たな塾生が入塾のご契約となった際、ご紹介をくださったご家庭にも、ご紹介の上入塾してくださったご家庭にも、お得な条件があるキャンペーンを実施いたします。詳細は、別途パンフレットをお配りいたしますので、何卒、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

② 平日の十九時以降の取り扱いについて

現在、平日は十九時まで延長保育料なしでお迎えをお待ちすることとし、その時間までのお迎えをお願いしておりますが、三月より、十九時以降の延長保育導入を検討しております。十九時以降は、三十分につき千円にて、二十時までの延長保育を実施することを計画中です。詳細が決定次第、お手紙にてお知らせいたします。なお、従来どおり十九時までにお迎えの場合は変更点はありません。

塾生インタビュー

※毎号、順不同で取材しお送りします

4年 しおり さん



★イデアで楽しいことは？
学校より先の内容を勉強できること。

★イデアで大変なことは？
苦手な勉強も容赦なくやらなければならぬこと。

★今の目標は？
家庭学習を工夫して、毎日提出し続けること。
★将来の夢は？
特にないけど、歴史が好きなので、歴史を活かせる仕事になりたい。

3年 ひおり さん



★イデアで楽しいことは？
友達と一緒にいろんな遊びを考えて遊ぶこと。

★イデアで大変なことは？
勉強が難しい時に解けるようになるまでのやるのが大変。

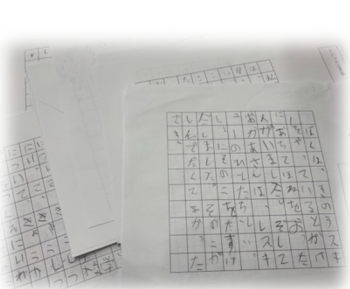
★今の目標は？
毎週の英語のテストの勉強を頑張る、合格を続けたい。
★将来の夢は？
人類を救済する

作文に毎日取り組みます

教科指導の兼ね合いから、原則週に一回の取り組みとしていた百文字作文を、毎日取り組むこととしました。

一昨年まで、百文字作文は原則取り組んでいましたが、今年度は、教科指導を優先するために週に一回の取り組みとしていました。しかし、週に一回では、「書く」あるいは「文で表現する」という学びが圧倒的に少なくなり、一年生においては格助詞「は」「を」「へ」などの使い方の習得に時間がかかったり、二年生以上においても指定字数以内にまとめて表現する力の成長が滞ったりすることが顕著となってきました。

そこで、教科の勉強時間を数分から十数分けずっても、作文の取り組みはしていくべきだと判断いたしました。特に一年生は、時系列での記述や、句読点の使い方、格助詞の使い方などを使いこなすことができないことも多いことから、書き直しなどで時間がかかることもあります。教科の勉強も従来通り行うことから、結果として勉強時間が長くなる日もあります。が、それでも「書く力」は、今後の人生に必ず必要となると判断しましたので、ご理解をお願いいたします。なお、テーマは当面「昨日の出来事」で固定します。



天邪鬼独り言 (編集後記)

先週の土曜日、高校時代の恩師と一年ぶりに再会し、酒席を共にさせていただきました。三年間担任で、大学受験時に、根っからの文系の僕に数学を叩き込み、さらに教育実習でも学級の指導教官を受け持ってくださいました先生の呼びかけで、僕に高校の地理歴史科とは何たるかを教えてくださった当時学年主任の先生、大学受験時に生物・地学の基礎を叩き込んでくれた先生、高校の現役時代は直接指導いただく機会がなかったものの、大学進学後に調査でお世話になった公民科の先生方との楽しい席でした。このうちお三方とは大学も同窓で、久しぶりに大学の話にも花が咲きました。

さて、僕の高校時代といえはすでに四半世紀も前で、この時も定年退職間近で四十年近く教員をしている先生をはじめとして、すでにベテランと呼ばれる先生ばかりでした。その先生方がいまだ生徒指導に悩み、教科指導の高みを目指し続けているというお話を聞き、感銘を受けてきました。「教育に完璧はない。ゆえに、自分で満足できる授業は教員人生で数えるほどしかない。」とのある先生の言葉に、自分の未熟さを噛み締めた次第です。

「教科指導を通して生徒指導ができる先生が、優れた先生だ。」という教育実習で教わった恩師の言葉を思い出しながら、さらに精進しようと思ひ、酔う暇のない酒席でした。